

補強土植生のり枠工

GTフレーム工法®

技術講習会（宮崎地区）のご案内



主催：補強土植生のり枠工協会

協賛：一般財団法人 土木研究センター

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当協会ではこの度、下記の内容にて技術講習会を開催することに致しました。

補強土植生のり枠工「GTフレーム工法」は、全面緑化できることを特徴としたのり面保護工であり、防災・景観保全を目的とした全国の斜面对策現場でご活用いただいております。これまでの施工実績は、100万㎡以上となり、そうした適用現場の中では、国土交通省が運用する新技術情報提供システム（NETIS）の「平成30年度 推奨技術」に選定されるなど、工法の優れた活用の効果が高く評価されています。

当日は、当工法の紹介のほか、特別講演として、緑化・環境分野にてご活躍されています、NPO法人日本緑化工協会 理事長 中野裕司氏にご講演いただきます。

ご多忙中とは存じますが、是非ご参加いただきたく、ご案内申し上げます。

なお、本講習は、(一社)全国土木施工管理技士連合会CPDSの学習プログラムとして認定されています。講習会終了後、受講証明書をお渡しします。 敬具

記

1. 日時 令和元年 7月 4日（木） 13:00 ～ 17:00（12:40 より受付）
2. 会場 宮崎県建設技術センター 視聴覚室
宮崎県宮崎市清武町今泉丙 2559-1 TEL 0985-85-1600
3. 技術講習会スケジュール

時間	内容	講師
13:00 ～ 13:10	開会挨拶	
13:10 ～ 14:50	①工法紹介 防災・景観保全に貢献する「GTフレーム工法」 活用の効果、適用事例の紹介	補強土植生のり枠工協会 副技術委員長 森本 泰樹
14:50 ～ 15:00	質疑・応答	
15:00 ～ 15:10	－ 休憩 －	
15:10 ～ 16:50	②特別講演 『生物多様性保全と外来牧草の適正な活用』	NPO 法人 日本緑化工協会 理事長 中野 裕司
16:50 ～ 17:00	質疑・応答	
17:00	閉会	

※ 建設系CPD協議会加盟の他団体でのCPD単位申請については、各団体の問合せ窓口または当協会事務局までお問い合わせ下さい。

【お問合せ先】 補強土植生のり枠工協会 事務局

TEL/FAX 0584-81-6838 E-mail info@gt-frame.com

申込方法

下記の参加申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてお申し込み下さい。

申込期限

令和元年 6月27日（木）

（定員により申込みをお受けできない場合のみ、こちらからご連絡致します）

参加費

無料

補強土植生のり枠工協会 事務局 宛
FAX 0584-81-6838

補強土植生のり枠工「GTフレーム工法」
技術講習会（宮崎地区） 参加申込書

令和元年 月 日

ふりがな お名前	勤務先	所属部署	電話番号

開催日時 令和元年 7月4日（木） 13:00～（受付開始 12:40）
会場 宮崎県建設技術センター（宮崎県宮崎市）

【お問合せ先】 補強土植生のり枠工協会 事務局
TEL/FAX 0584-81-6838 E-mail info@gt-frame.com
URL http://www.gt-frame.com

会場案内図

宮崎県建設技術センター 視聴覚室

〒889-1602 宮崎県宮崎市清武町今泉丙 2559-1

TEL 0985-85-1600



- アクセス
 - ・宮崎自動車道
「清武IC」から車で10分
 - ・宮崎交通バス
「技術センター前」下車徒歩5分
- 駐車場
 - ・無料

特別講演

●講演題目 『生物多様性保全と外来牧草の適正な活用』

●講演者紹介 中野 裕司

エコサイクル総合研究所/中野緑化工技術研究所代表/所長

- ・エコサイクル総合研究所～建設副産物、産業・生活廃棄物の土壌資源化
環境に負荷を与えない廃棄物・副産物を土壌資源化し、土壌の保全・富化・健全化を図る
- ・中野緑化工技術研究所
緑化困難地に対する緑化技術、自然回復緑化技術、斜面・法面防災技術の開発・普及
山地・里・都市、急勾配無土壌岩盤斜面から屋上・壁面まで緑化全般

主な技術的活動(公的活動)

- ・学会等関連
森林部門技術士会 理事 <http://www.geocities.jp/jaiforester8/>
日本技術士会防災支援委員会 幹事 <http://www.engineer.or.jp/cmt/bousai/>
日本緑化工学会 監事 <http://www.soc.nii.ac.jp/jsrt/> 同都市緑化研究部会幹事
緑化・環境 CPD 協議会 理事 <http://www.gaecpd.com/>
土木学会地盤工学委員会斜面工学小委員会 委員 <http://www.jsce.or.jp/committee/jiban/slope/>
- ・NPO 法人
非営利特定活動法人日本緑化工協会 理事長 <http://www.ryokkakou.jp>
- ・民間技術団体
ジオアンカー研究会 会長 <http://www.geo-anchor.com/>
表土層調査技術研究会 監事 <http://www.hyoudoken.jp/>
CA 緑化工協会 顧問 <http://www.ca-ryokka.com/>
自然再生緑化工協会 顧問 <http://www.shizensaisei.org/>
日本下水道コンポストネットワーク(JCN) 評価委員 <http://www.jcn-im.jp/>
TDM(樹木医関係者による情報交換ネットワーク約 700 名参加) 世話役
- ・各種委員(過去～)
農林水産省(畜産環境整備センター) 堆きゅう肥新規需要開拓促進調査分析検討委員会委員
林野庁(事務局・緑化技研)
「平成 19～21 年度生物多様性保全に資する治山対策手法検討調査(荒廃地緑化手法検討調査)」
林野庁(事務局・明治コンサルタント) 「平成 22～25 年度治山先端技術実証調査」委員
林野庁東北森林管理局(事務局・国土防災技術)
「H27 仙台湾地区海岸防災林乾燥害等試験調査業務」 監修
林野庁近畿中国森林管理局 「H27～ 手取川上流崩壊地に関する技術検討会」 委員
環境省 特定外来生物等分類群専門家グループ会合(植物グループ会合) オブザーバー
環境省(事務局・地域環境)
「平成 25～26 年度自然公園における法面緑化に関する指針等策定検討業務」 検討員
国土交通省・農林水産省・林野庁・環境省(日本緑化センター)
平成 17 年度「外来生物による被害の防止等に配慮した緑化植物取扱方針検討調査(緑化植物取扱方針検討調査)」 専門委員
平成 18 年度「生態系保全のための植生管理方策検討調査及び評価指針検討調査(生態系保全型植生管理方策検討調査)」 専門委員
(社)道路緑化保全協会 事業委員会技術幹事長
(社)日本下水道協会平成 15～22 年 下水汚泥緑農地利用促進連絡会委員
(社)日本樹木医会 技術委員会、編集委員会、法人化検討委員会、資格制度検討委員会など
- ・その他
学校法人明倫館国土建設学院講師平成 16～22 年 造園積算材料、造園工学、樹木医学など
平成 26 年 12 月 17 日 緑と減災について NHK ラジオ深夜便